**【第271号 紙面案内】**

第2面……………第64回全国研究大会開催校案内

第4～5面……………第64回全国研究大会プログラム

第64回全国研究大会統一論題解題

統一論題「クライシス・マネジメントを考える ―いまなにが求められているか―」

第64回全国研究大会実行委員長 木村 敏夫 (流通科学大学)

第64回全国大会の統一論題は、これまでに考えられていた危機管理の仕組みを一変させる未曾有の事態に対処する方法などを模索、検証することとした。

平成7年1月17日、淡路島を震源とする大地震が神戸を襲い、神戸市街地を中心として多大な被害を受けた。本年、3月11日発生した地震は、岩手県、宮城県、福島県などの沿岸部を大津波が襲い、神戸市街地などが受けた被害を大幅に上回る甚大な被害をもたらした。この震災に対して、諸機関・組織はその役割と機能を十分に果たしたとは言いがたい。

災害は予測できないのか、災害に備えるためには何をしなければならないのか、災害が起きた場合、どのような行動をしなければならないのか。これらの課題は諸機関が果たすべき役割などの統一的な見解が示されていない、理解がなされていないことに起因していると思量する。

神戸は震災の体験、復興の実例として経験を持つ。復興には当然、時を必要とする。「国・県・市、民間」の協力がなければ不可能である。復興を立案する智を提言する「学」の協力なくしても不可能であることは自明である。

この震災体験、復興の経験を持つ神戸の地は、今回の東北地域を中心とした復興、さらに、予想される災害に対処する施策などを議論し、検証する場として最もふさわしいと思量する。

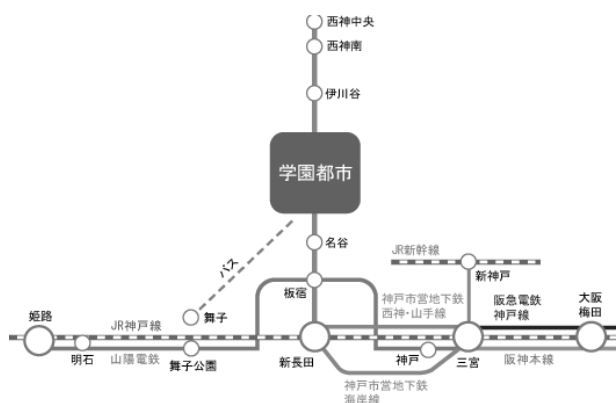
建学の理念に「実学」を掲げて開学した流通科学大学では、あらゆる機会をとらえて、行政、実社会と交流することを心がけてきた。本学は「流通を科学する」(人、もの、かね、サービス、情報の流通を科学する)という実学の府を標榜する大学であることから、行政、企業、研究者の三方向から諸機関が為すべき危機管理を検証し、意見を発信する場として適切な「場」であると思量し、大会を三方向からの情報発信の場といたしたい。

第 64 回全国研究大会開催校案内

流通科学大学

流通科学大学が位置する神戸市は、ポートアイランド沖に神戸空港、スーパーコンピュータ、先端医療研究機関などが集積するなど、震災からの復活を遂げています。流通科学大学は神戸市営地下鉄学園都市駅（新幹線新神戸駅より約25分、神戸の中心地、三宮から約23分、神戸空港から三宮まで約18分、大阪から三宮まで新快速約25分、京都から約1時間）から徒歩5分に位置します。大学キャンパス2棟からは淡路島、明石大橋を展望できます。また、周囲に兵庫県立大学、神戸市看護大学、神戸市外国語大学、神戸芸術工科大学、神戸市立工業高等専門学校が立ち並ぶ「神戸学園都市」の一角に位置しています。研究、教育の相互交流も行われています。

流通科学大学は、日本で初めて「流通」を専門に研究・教育する大学として中内功氏の提唱にもとづき1988（昭和63）年に開学しました。現在、「流通」「マーケティング」「実学」を研究教育の柱としています。



混乱の時代にあって、われわれがなすべきことは生産中心の社会を改革し、流通が主体性をもち、人間本位で、生活者のための社会を構築することであり、真っ向から流通に取り組み、生活者の立場に立った流通の在り方を、科学的に研究教育し、日本のみならず世界の人材を養成することが、真の流通革命を実現し人類に豊かな社会をもたらす大道と確信して建学されたのです。以来、生活者の立場に立った流通の科学的研究と、日本のみならず世界が必要とする人材の育成を目標に、産学の連携を基盤とするユニークな実践の学を研究しています。

開学時は商学部のみを設置でしたが、1992（平成4）年には情報学部が、1996（平成8）年に大学院流通科学研究科（博士前期・後期課程）が、そして2001（平成13）年にはサービス産業学部が開設され、2007年創立20周年を迎えました。2011年学部改組により、商学部、総合政策学部、サービス産業学部の1研究科3学部4学科（学部定員900名）を擁し、中心キャンパス約4万坪に、約4,000名が学んでいます。社会の現実に根差した「実学」を基本に、国際的人材の育成につとめ、広く社会に開かれた大学をめざし、新しい地域社会、日本の社会に、そして世界に必要な人材を送り出しています。

常任理事会報告

2011年9月2日(土)午後2時から、山城経営研究所5階会議室にて、日本マネジメント学会常任理事会が開催されました。議事内容を以下のとおりご報告いたします。

1. 第64回全国研究大会について

10月28日(金)～30日(日)の日程で流通科学大学にて開催されることが、木村敏夫大会実行委員長から報告された。また吉村孝司組織委員長から、大会プログラムについて報告があり、承認された。

2. 研究部会について

森川信男総務委員長より研究部会の発足について提案があり、承認された(詳細は本会報6頁を参照)。

3. 委員の任命について

松本芳男会長から、機関誌委員会の西田芳克委員と平田光弘委員の任期終了にともない以下の補充が提案され、承認された。

小椋康宏氏(東洋大学)、樋口弘夫氏(和光大学)

4. 会員の入退会について

個人会員6名の入会と、個人会員4名、法人会員1社の退会が承認された。この承認を経て、2011年9月2日時点で個人会員717名、法人会員5社となった。

6. その他

- ・第65回日本マネジメント学会全国研究大会を日本大学商学部において、2012年6月22日(金)～24日(日)の日程で開催することが決定された。
- ・「KAE40周年記念メインイベントシンポジウムのご案内」を会報271号に同封することとした。
- ・ホームページの運営方針について森川信男総務委員長から報告があり、承認された(詳細は本会報7頁を参照)。

◇◇中部部会開催のご案内◇◇

日本マネジメント学会(旧称:日本経営教育学会)中部部会では、第44回中部部会開催を、下記のとおり予定いたしております。皆さま奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

●日 時:平成23年11月19日(土) 14:00～17:30

●場 所:東海学園大学栄サテライト 地下鉄名城線「矢場町」駅4番出口より南へ200m(徒歩約3分)。若宮大通を渡った角の「久屋南KTビル」9階(1階に「やば珈琲店」が入っている)。

●お問い合わせ:中部部会長・堀田 友三郎(0561-36-5555, hottat@tokaigakuen-u.ac.jp)

詳細につきましては、中部部会事務局・藤木善夫(愛知産業大学 岡崎市岡町原山12-5 TEL:0564-48-4511, yfujiki@asu.ac.jp)までお問い合わせください。また中部部会では随時報告者を募集しております。ご希望の方も上記藤木までお知らせください。

日本マネジメント学会第 64 回全国研究大会プログラム

統一論題 「クライシス・マネジメントを考える ― いまなにが求められているか ―」

開催校 流通科学大学

第 1 日 2011 年 10 月 28 日 (金)

14:00 ~ 17:00 企業見学 シスメックス株式会社 ソリューションセンター
〒651-2241 兵庫県神戸市西区室谷 1 丁目 3 番地の 2
※流通科学大学 本部棟前に 13:40 までに集合して下さい。

17:30 ~ 19:00 理事会 (3111 会議室)

第 2 日 2011 年 10 月 29 日 (土) 会場：6301 教室 (6 棟 3 F)

9:00 受付

9:50 ~ 9:55 開会挨拶 第 64 回全国研究大会実行委員長 木村 敏夫

9:55 ~ 10:00 会長挨拶 日本マネジメント学会会長 松本 芳男

10:00 ~ 12:05 統一論題報告 (報告：45 分 コメントおよび質疑：15 分 計 60 分)

10:00 ~ 11:00	統一論題報告 1
報告者	八木 俊輔 (神戸国際大学)
報告テーマ	現代企業の持続可能なマネジメントの体系と展開 ― 環境経営と CSR の統合理論の構築を目指して ―
コメンテーター	平田 光弘 (中央学院大学)
司会者	井上 善海 (広島大学)
11:05 ~ 12:05	統一論題報告 2
報告者	李 志明 (流通科学大学)
報告テーマ	ソーシャルロジスティックスの重要性 ― 災害の教訓 ―
コメンテーター	杉田 博 (石巻専修大学)
司会者	李 只香 (九州共立大学)

12:05 ~ 13:00 休憩

13:00 ~ 14:00	基調講演
報告者	松本 芳男 (日本マネジメント学会会長)
報告テーマ	有事における科学者・学会の果たすべき使命
司会者	小椋 康宏 (東洋大学)
14:10 ~ 16:40	統一論題シンポジウム
	神田 榮治 (兵庫県立大学政策科学研究所客員教授)
	永田 孝司 (CGC ジャパン物流事業部事業部長)
	杉田 博 (石巻専修大学)
司会者	細川 進 (香川大学)
16:45 ~ 17:45	特別講演
報告者	佐伯 壽一 (神鋼ケアライフ株式会社 顧問 [前取締役社長])
報告テーマ	高齢者支援事業の思い
司会者	木村 敏夫 (流通科学大学)
18:00 ~ 20:00	懇親会 (会場：みかんホール 6 棟 1F)

第3日 2011年10月30日(日)

9:00

受付

自由論題報告(各報告 報告:30分 コメントおよび質疑:15分 計45分)

9:30 ~ 13:55

韓国セッション(韓国経営教育学会からの派遣報告および日本マネジメント学会海外(韓国)派遣報告 各報告 報告:45分 計45分)

9:30 ~ 10:15	自由論題A会場(6301教室)	自由論題B会場(6302教室)	韓国セッションC会場(6303教室)
報告者	早川 淑人(札幌学院大学大学院客員研究員)	セダイン マダブ プラサド(創価大学大学院)	シン ムンシキ(Myongji 専門大学)
報告テーマ	『新・教育基本法』からみたPTAマネジメント上の問題点 — 保険学的視点から安全補償制度を中心に —	インドの自動車産業のM&A戦略 — 日本企業との比較による考察 —	退職年金市場における投資者教育に関する研究
コメンテーター	小山 修(札幌大学)	宮島 裕(共栄大学)	
司会者	加藤 茂夫(専修大学)	樋口 弘夫(和光大学)	中村 公一(駒澤大学)
10:25 ~ 11:10	自由論題	自由論題	韓国セッション
報告者	孫 美麗(流通科学大学)	佐藤 聡彦(明治大学大学院)	チョ オッヒ(Changshin 大学)
報告テーマ	中国における内部統制制度導入の実態分析	専門経営者の「プロフェSSIONナル」と「事業経営家精神」	老人専門養護院の経営戦略強化に関する研究
コメンテーター	本間 利通(大阪経済大学)	松村 洋平(立正大学)	
司会者	杉田 あけみ(千葉経済短期大学)	萩原 道雄(萩原経営研究所)	文 載皓(富士常葉大学)
11:20 ~ 12:05	自由論題	自由論題	韓国セッション
報告者	時 鍵(北海道大学大学院)	山岸 裕(東洋大学大学院)	中村 久人(東洋大学)
報告テーマ	日本企業の中国における研究活動に関する分析 — 株式会社資生堂の事例 —	大都市水道事業者の上流域事業者への協動的関与による新たなビジネスモデルに関する一考察	経営教育におけるリーダーシップ開発論とサーバント・リーダーシップ
コメンテーター	大野 和巳(青森中央学院大学)	吉村 孝司(明治大学)	
司会者	平屋 伸洋(敬愛大学)	新免 圭介(青森中央学院大学)	手塚 公登(成城大学)

12:05 ~ 13:10 休憩

13:10 ~ 13:55	自由論題	自由論題
報告者	曹 佳潔(京都産業大学大学院)	世良 和美(広島大学大学院)
報告テーマ	BOP層におけるビジネスモデルの転換:住友化学の事例分析	企業の「社会戦略」検討のための一考察
コメンテーター	福田 好裕(和光大学)	堀田 友三郎(東海学園大学)
司会者	森川 信男(青山学院大学)	小野瀬 拓(九州産業大学)

13:55 閉会挨拶 日本マネジメント学会組織委員長 吉村 孝司(6301教室)

新しい研究部会の発足について

総務委員長 森川信男（青山学院大学）

第64回全国研究大会（本年6月神奈川大学にて開催）の会員総会で、学会名改称が承認され、7月1日付で日本マネジメント学会となり、三研究部会も発足いたしました。それに伴い、9月2日開催の常任理事会におきまして、各研究部会長が承認されました。研究部会と部会長をご紹介します。

- (1) マネジメント実践研究部会 ：部会長 小椋康宏（東洋大学）
- (2) 日本・国際マネジメント研究部会：部会長 松本芳男（日本大学）
- (3) マネジメント教育研究部会 ：部会長 加藤茂夫（専修大学）

三研究部会とも、研究報告中心の全国研究大会や地域部会、産学交流研究集会（産学交流シンポジウム）とは異なり、小グループ的なまとまりをもって、本学会の使命を果たすべく研究活動を展開してまいりますので、会員皆さまの積極的なご参加をお願いいたします。

各研究部会とも、当面は本部地域中心の形で発足しますが、地域部会とは異なり地域を問わず参加することが可能です。また、今後は特定地域中心や地域横断的な形で、三研究部会と連動しつつ、それぞれ独立した複数の研究グループの発足を念頭においておりますので、ご希望の方は、各部会長にご連絡・ご相談をお願いいたします。重ねて会員皆さまからの積極的なご参加をお待ち申し上げます。

◇◇関東部会開催のご案内◇◇

開催校担当教員：谷内 篤博（文京学院大学）

●日 時：2011年12月17日（土）14:00～17:30

●場 所：文京学院大学本郷キャンパス B館 406 教室

●報告プログラム

※報告：40分、コメント・質疑20分

第1報告：14:00～15:00

報告者：岩崎 裕子（文京学院大学）

テーマ：「理学療法士のワークモチベーション—Herzberg 理論の視点から—」

コメントーター：海老澤 栄一（神奈川大学）

司会者：今井 重男（千葉商科大学）

（10分休憩）

第2報告：15:10～16:10

報告者：李 昭娟（創価大学大学院博士後期課程）

テーマ：「企業倫理教育におけるケースメソッドの有用性」

コメントーター：中村 秋生（千葉商科大学）

司会者：加藤 茂夫（専修大学）

（20分休憩：コーヒーブレイク）

第3報告：16:30～17:30

報告者：申 海華（横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科博士後期課程）

テーマ：「化粧品企業におけるブランド価値評価—経済産業省ブランド価値評価モデ

ルによる分析を中心として一」

コメンテーター：萩原 道雄（萩原経営研究所）

司会者：田中 信弘（杏林大学）

●参加費等：参加費 1,000 円、懇親会費 3,000 円

●お問い合わせ：関東部会長・佐久間 信夫（042-691-6994 nsakuma@soka.ac.jp）

日本マネジメント学会ホームページについて

総務委員長 森川信男（青山学院大学）

7月1日付での日本マネジメント学会への学会名改称と同時に、「日本マネジメント学会ホームページ（URL <http://nippon-management.jp>）」を開設いたしました。その後何名かの会員皆さまから、ヤフーやグーグルで「日本マネジメント学会を検索してもまったく見出されないが」というご意見を伺いました。

URL を直接入力していただければ直ちに見出されますが、学会名称による検索では、現時点ではまだ下位ページ（8 頁目か9 頁目）においてしか見出されません。これは学会ホームページ設計上の欠陥ではなく、学会改称間もないためですが、日本マネジメント学会名での「ホームページ上のコンテンツ」が少ないことに起因する現象であります。

今後日本マネジメント学会の知名度の上昇とともに上位ページに現出するようになりますので、心配の必要はございませんが、ホームページ上での本学会の知名度が一日も早く相応の位置に回復することが希求されます。つきましては、学会会員の皆さまにぜひとも次のご協力をお願い申し上げる次第です。

第一は、本年度からすべての大学教員の研究活動業績等の情報公開が義務づけられ、各大学とも実施途上にありますが、所属学会の記入に際しましては、「日本マネジメント学会」にご変更をお願い申し上げます。

第二は、会員皆さまの過去の研究活動における、旧日本経営教育学会にかかわる掲載論文・学会報告・学会活動・学会役職などは、「日本マネジメント学会（旧称：日本経営教育学会）」にご変更をお願い申し上げます。

第三は、もっとも本質的なことですが、本学会とのかかわりにおける会員皆さまの素晴らしい研究業績により、日本マネジメント学会の名を広めてくださいますようお願い申し上げます。

◇◇九州部会開催のご案内◇◇

平成 23 年度第 2 回九州部会を次のように開催いたします。九州部会事務局では、随時報告募集しております。希望される方は、九州部会幹事までご連絡ください。

●日 時：平成 23 年 3 月 17 日（土） 13:30 ～ 17:45

●場 所：お茶の水医療福祉専門学校福岡校（地下鉄 赤坂駅 4 番出口下車徒歩 3 分、西鉄福岡駅中央口下車徒歩 8 分 <http://www.ochanomizu-f.ac.jp>）

●お問い合わせ：九州部会幹事・八島雄士（yashima@kyukyo-u.ac.jp）

◇◇関東部会開催のご案内◇◇

平成24年度第1回関東部会は、平成24年5月東洋大学で開催の予定です。報告を希望される方は、関東部会長・佐久間信夫（TEL：042-691-6994 nsakuma@soka.ac.jp）までお知らせください。関東部会では随時報告者募集を行っております。

研究部会開催について

- (1) マネジメント実践研究部会：部会長 小椋康宏（東洋大学）
2011年9月24日（土） 14：00～ 於東洋大学
- (2) 日本・国際マネジメント研究部会：部会長 松本芳男（日本大学）
2011年12月17日（土） 10：30～ 於文京学院大学
- (3) マネジメント教育研究部会：部会長 加藤茂夫（専修大学）
2011年11月20日（土） 14：00～ 於専修大学神田校舎

本欄～会員の新刊著書を紹介します～

- ◎亀谷保孝『世界一カンタン de 楽しいデリバティブの教科書』秀和システム
2011年8月 1,500円＋税
- ◎佐久間信夫・鈴木岩行編著『現代企業要論』創成社 2011年7月 2,700円＋税
- ◎山本志都『異文化間協働におけるコミュニケーション』ナカニシヤ出版
2011年3月 3,500円＋税
- ◎佐久間信夫・芦澤成光編著『現代経営戦略要論』創成社
2011年5月 2,600円＋税

会員の皆さまの新刊著書をご紹介します。
事務局への献本（1冊）をお願いいたします。

機関誌投稿論文、日本マネジメント学会山城賞および山城賞奨励賞、アメリカ経営学会経営教育部会への派遣報告者、韓国経営教育学会への派遣報告者のお申し込みやお問い合わせは、下記までお願いいたします。

日本マネジメント学会事務局（担当：魚住 良三）

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-8-4 株式会社山城経営研究所内
TEL 03(3264)2100 FAX 03(3234)9988 E-Mail name@kae-yamashiro.co.jp

編集後記

会報第271号をお届けします。流通科学大学にて開催されます日本マネジメント学会第64回全国研究大会（2011年10月28日～30日）は、学会名改称後の初めての全国大会です。多数の会員の皆さまにご参加いただき、有意義な時間を共有したいと存じます。

樋口弘夫・杉田あけみ

発行 **日本マネジメント学会**
(旧称：日本経営教育学会)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-8-4
株式会社山城経営研究所（担当：魚住）
TEL 03-3264-2100 FAX 03-3234-9988
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: <http://www.nippon-management.jp/>

印刷 株式会社ドットケイズ 〒03-5206-1626
E-mail: fujiyama2011@mail.goo.ne.jp